

石 兵團會報

一月十八日一六〇里

一 兵團司令部ハ本十八日左記ニ移駐ヲ完了シ夫々事務ヲ開始セリ

ノ幕僚部 首里高等女學校

ニ兵器部 首里市工業學校

三 經理部 首里市赤平町師範學校寄宿舎

四 軍醫部 首里市赤田町(石川逢常方)

五 獸醫部 首里市赤田町ニ、二十一

ニ 兵器部ニ於テ飼養管理中ノ軍犬一頭月十六日〇〇頃繫鎖切斷シ

逸走リ搜索中九モ不明ニ付心當リ向テ兵團兵器部ニ連絡セシ度

種類 「シエパート」 犬名 「ハルゴ」 毛色 黒褐色

性 牡 體高 六〇 體長 六八 體

革首輪ヲ附シ體格中等ヨリ稍大ナリ

第六號

部内會報

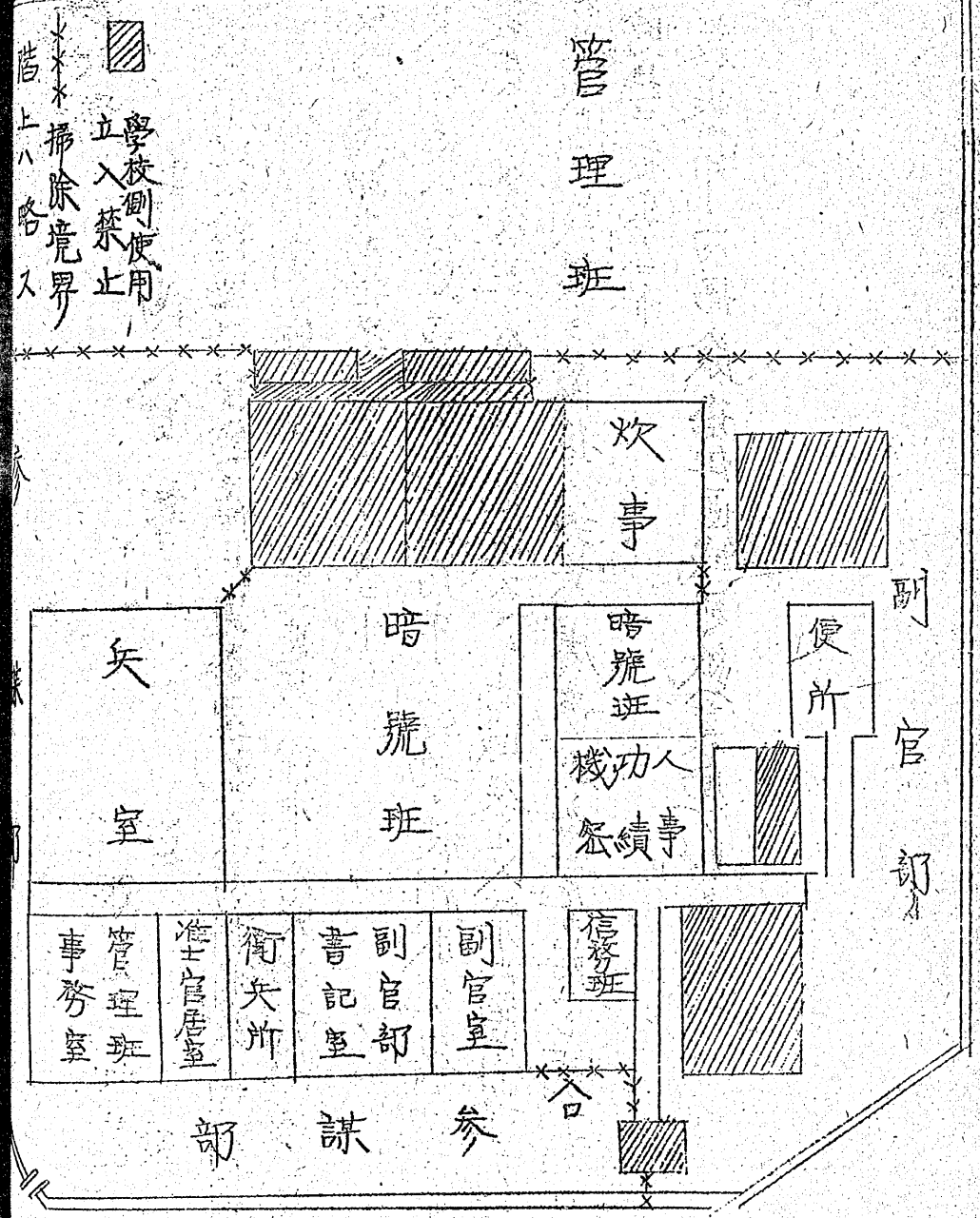
一月十八日一六〇里

一 各部班ハ首里ヘ移動ニ伴ヒ週番系統、度務掛將校、内務掛ニ於テ速カニ新環境ヲ整理セシメ對空遮蔽就中、防火諸設備、ニ萬全ヲ期スニク適切ナル指導監督ヲナスコト

二 各部班ハ移駐ニ伴ヒ現ニ使用中ノ建物ノ使用狀況及ヒ現ニ收容シテ人員ノ概數並ニ營内ト見做スベキ地域及立入禁止箇所等ヲ詳記シテ小要圖ヲ調製シ爾後ノ對策處置及意見ヲ附シ明十九日會報時並ニ提出ノコト

三 幕僚部内掃除擔任區域別紙(裏面)ノ如シ

幕僚部掃除任區域



トコノ施實ヲ於ニ班部用使ハ等壕蔽掩庫倉下廊厨附室ヲ備  
トコノ施實上ノ督監官士下務廻各ニ代交班部各ハ所使ヲ

金	一月十九日	一別紙左記命令會報ヲ下達ス
最高温度	二七度	兵團日日命令第六號
最低温度	一二度	部内日日命令第十八號
命令里		部内會報 第七號
		二衛兵隊加藤曹長以下三〇名掩蔽壕構築作業ヲ實施ス
司令部附	三獨立歩兵第十五大隊附陸軍曹長 外崎正男ハ	
進級	第六十二師團司令部附ヲ命ゼラル	
	四副官部勤務中、獨立歩兵第十三大隊木下二等兵橋本一等兵ハ一月十五日附陸軍上等兵ヲ命ゼラル	
裝蹄	五管理班ニ於テ管理中ノ乘馬五頭岡村上等兵以下五名 棚原第六十二師團病馬廠ニ至リ裝蹄ヲ實施ス	



勤務六部隊衛兵 山本軍曹以下五名  
人馬數七 本日ニ於ケル人馬數

人員 將校 八 准下士官二五 兵一三四

判任文官 一 傭人四 計一六二

馬匹 日本馬 一三

陸軍

第廿號

石兵團日日命令

一月十九日六。里

一 石第八二部隊附 陸軍軍醫中尉 草住隆治郎

石第三五九二部隊勤務ヲ命ス

二 石第三五九六部隊附 陸軍曹長 外崎正男

石第八八二部隊附ヲ命ス

三 參謀部勤務將校傳令 石第三五九六部隊 陸軍中尉 片岡幹藏

頭書ノ勤務ヲ免ス

依而明二十日朝食後原隊ニ復歸ス

配布先 關係部隊

第一八號

部内日日命令令

一 參謀部勤務 陸軍一等兵

江尻昌夫 (一月十五日附)

暗號班勤務 陸軍一等兵

大橋仲彌 (一月十五日附)

副官部勤務 陸軍一等兵

木下勝次 (一月十五日附)

同

橋本清一 (一月十五日附)

陸軍上等兵ヲ命ス

(一月十五日附)

二 左ノ通諸勤務ニ服務スベシ

自一月二十日	週番士官	週番副官
自一月二十日	野口准尉	脇田曹長
自一月二十日	鈴木少尉	山本曹長

一月十九日一六〇〇

巡察將校(令准士官)

月日	曜	差出部	班	月日	曜	差出部	班
一月五日	日	參謀部	ヨリ	一月五日	木	管理班	ヨリ
一日	火	兵務部	ヨリ	一日	土	經理部	ヨリ

巡察箇所、若眼、其他八部内會報第七號第一項ニ依ルベシ

一 衛兵長 陸軍中尉 篠 喜  
 二 明子ヨリ當分、間副官部、兼務ヲ命ス

第七號

部内會報

一月十九日一六〇里

一、昭和十九年部内會報第六號第八項、巡察要領ヲ左記ノ

如ク改ム

左

記

一、巡察箇所 幕僚部、兵務部、經理部、軍醫部、

獸醫部位置及其他司令部關係箇所

二、巡察若眼 軍紀風紀、狀況 勤務者、狀況

公私外出者、狀況 宿營、狀況

物品購入、狀況 車馬勞務者使用狀況

三、巡察者ハ事故發見、場合ハ速報ヲ以テ其ノ都度其他、場合ハ

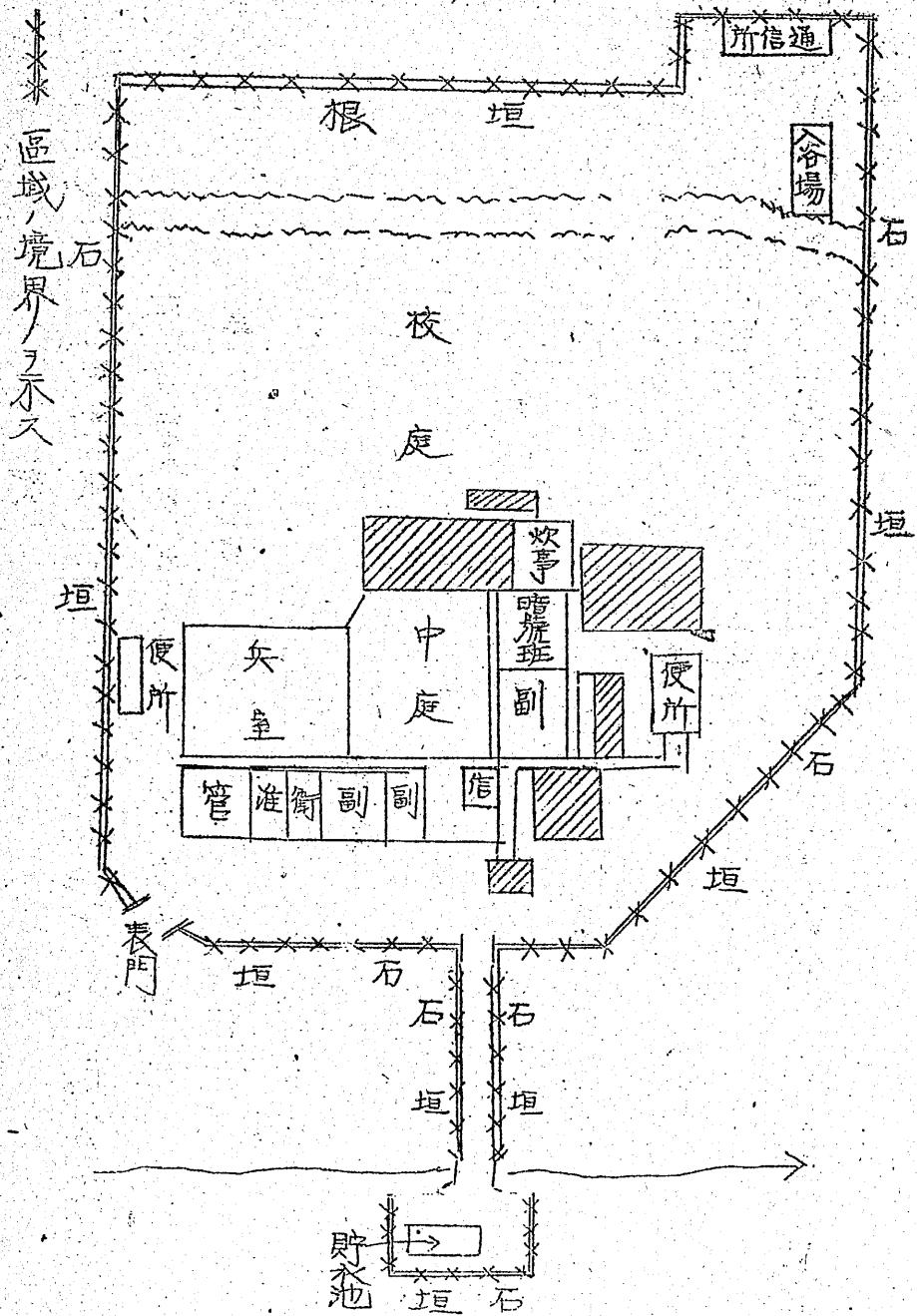
巡察報告ヲ翌日正午迄副官部ニ提出シ、ト又各部ハ巡察者ノ

官氏名ヲ前日會報時ニ副官部ニ通報スルモノトス

二、左記要領ニ依リ月例身體検査並ニ赤痢豫防接種ヲ實施ス



營内ト見做ナス區域(幕僚部)



四 幕僚部位置「營内ト見做スベキ區域」ヲ左ノ如ク足ム

一 實施場所司令部内醫務室  
 二 防疫給水班ハ自隊ニ於テ實施スルモトス  
 三 幕僚部廳舎内兵室(備室)南側ニ兵用便所ヲ設備ス付使用區分ニ從ヒ使用セムコト  
 參謀部、副官部、管理班、暗號班各二

左

記

一 實施日時 二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、第一回豫防接種

二 實施順序 一三四〇、一三四〇、一三四〇、參謀部(含暗號班)

一三四〇、一三四〇、一三四〇、副官部(含管理班)

一五二〇、一五二〇、一五二〇、衛兵隊

一五五〇、一五五〇、一五五〇、兵隊部(含勤務班)

一六三〇、一六三〇、一六三〇、經理部(含勤務班)

一七〇〇、一七〇〇、一七〇〇、軍醫部、獸醫部

一月二十日 晴

最高温度 二十八度

最低温度 一〇度

首領 司令部

行專 司令部

兵團會報

一別紙左記命令ヲ下達ス

部内日日命令第十九號

石兵團會報第十三號

部内會報第八號

二司令部位置ニ於テ司令部各部直轄旅團大隊指揮下部隊ノ副官庶務將校集合上高級副官司令部ノ下ニ兵團會報ヲ實施ス會報要旨別紙石兵團會報第十三號ノ如シ

會報後參謀長注意事項左ノ如シ

一軍紀風紀ノ緊肅

(イ)敬禮 服裝態度ノ嚴正

ニ速カニ對空處置ノ萬全ヲ期スルコト

(ロ)轍痕ヲ消セ (ハ)防空壕ノ完備

(ニ)偽裝ノ處置ヲ速カニ完全ナラシムヘシ



兼務	三 衛兵長 篠中尉 八本 二十日ヨリ副官部兼務ト
勤務	シテ勤務ス 四 自一月二十日 週番士官 野口准尉 同 同下士官 漆畑軍曹
人馬數	五 本日ニ於ケル人馬數 人員 將校八 准下士官ニ五 兵 一三四 判任文官 一 傭人 四 計 一六二 馬匹 日本馬 一三
	部隊衛兵 田中兵長以下五名

(納谷與京東)

第 九 號

部 内 日 日 命 令

一月二十日 六ノリ  
首 里

一 參謀部勤務 陸軍一等兵 大西 隆平  
兵精勤章ヲ附與ス (一月二十五日附)

二 陸軍曹長 竹澤 武夫  
業務連絡ノ爲明二十日即日歸隊、豫定ヲ以テ虎第二  
中學校ニ出張ヲ命ス

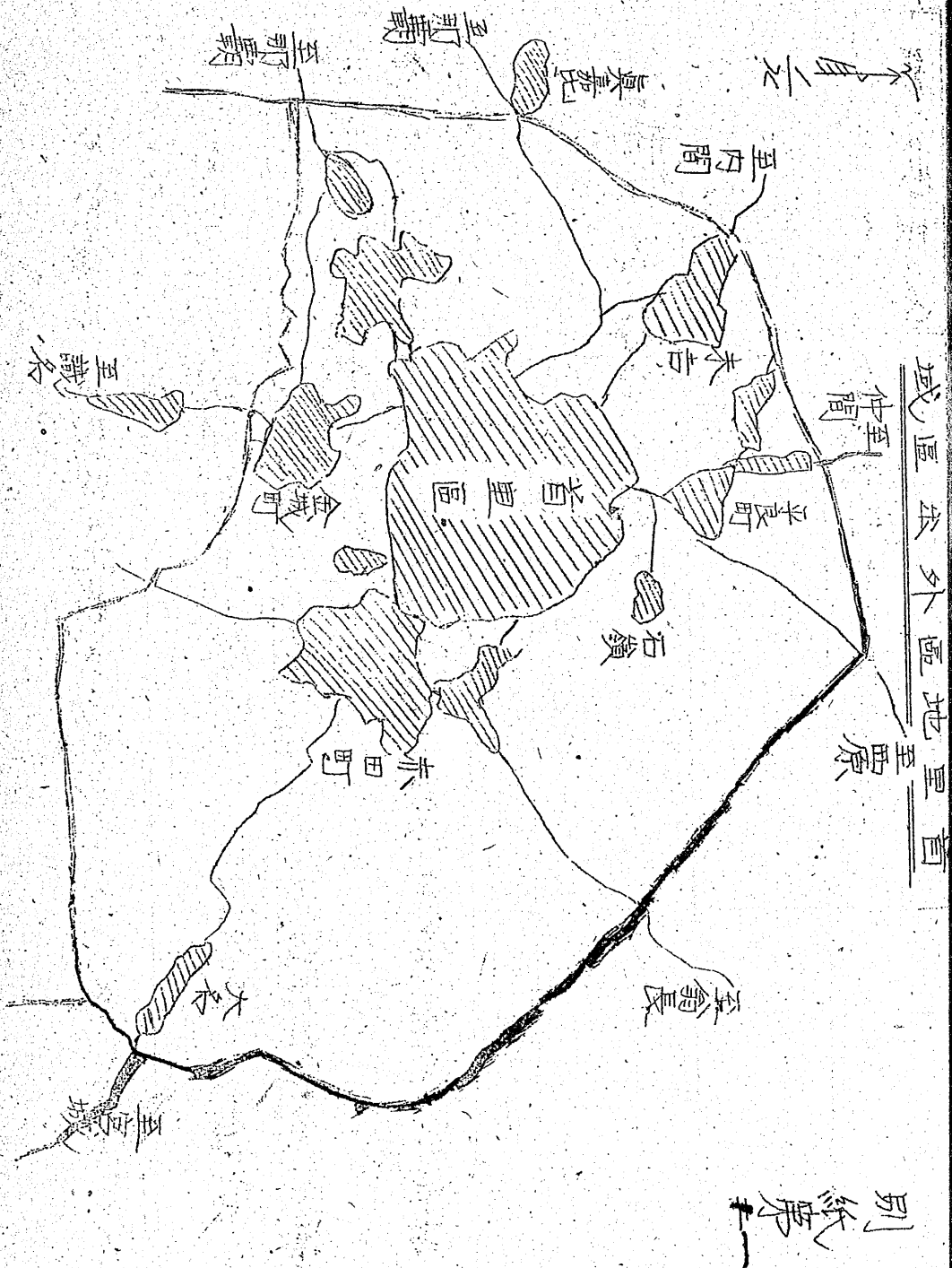
石兵團會報

一月二十日一〇〇〇里

- 一 連日降雨、為各部隊共宿營地附近、衛生的見地ヨリ或ハ道路等、補修ヲ要スル個所多シ排水溝ナリ消毒施策ヲ早急ニ實施セ度
- 二 某部隊ニ於テ公用證ヲキ為外出證ヲ以テ公用證ニ代アリ内務令ノ主旨ヲ徹底サレ度又公用證ハ徒歩、乘馬、乘車ノ使用區分ノ誤ル者多シ
- 三 内務令第百示ス様ニ依リ整備シ使用區分ヲ徹底セシメラレ度
- 四 某部隊ノ起床時限變更ニ關シ意見アリシモ兵團ニ於テハ冬至ヲ過ギタル今日起床時限等、遲延變更ハ考慮シラス
- 五 部隊使用中ノ學校ニ安置サレテ御眞影ノ御奉遷ニ方リテハ師團ニ於テ驟ト交渉ス上近日一拾善處致スベク配慮中ナリ
- 六 爾今石部隊司令部内ニ於テ齒科診療ヲ實施ス
- 七 石兵團會報第五四號ニ依リ外出區域ハ別紙ノ如ク改ム(別紙第一、前項區域内ニ在ル諸部隊ノ外出日ノ配當ニ關シテハ別ニ示ス

七 前ニ巡察報告ハ具體的ニ記載スベク注意シテハ別紙ノ如ク報告ス  
 注意ヲ要ス(別紙第三)  
 八 球第一六二部隊獸醫部ヨリノ通報ニ依リ一月九日ヨリ中頭郡美  
 里村ニ二月十日ヨリ鳥尻郡豊見城村ニ夫々豚丹毒散發シテ各郡  
 隊ハ之ガ防疫ヲ嚴ニセラレ度  
 尚豫防注射未了豚ニ對シテハ別表ク豫防液ヲ交付スルニ付確實ニ  
 實施ノコト

配布先 中隊迄、各郡班





別紙第二

某地區巡察報告

一月十日

陸軍准尉

某

時	九時 — 二時	路	經	某地對空(霧) — 富名解 — 屋嘉部 — 富里 — 志堅原 — 奧鷲 — 仲榮 — 真 — 下 — 原 — 仲村果 — 百名 — 垣花																			
著	眼	所	見	(狀況)	對	策	處	置															
舍	營	地	區	ノ	單	紀	嚴	正	シ	テ	良	好	ナ	リ									
狀	況	民	家	ヲ	利	用	シ	ア	ル	モ	ノ	狀	況	良	好	ナ	リ						
外	出	中	ノ	兵	ノ	狀	態	(公	私	ノ	問	ハ	ス	嚴	正	的	確	シ	テ	良	好	ナ	リ

部隊名	分	豚丹毒	豫防液	空瓶	摘要
石第八八二部隊	二二	六六	一〇	一	自隊豫防注射終了後殘液ヲ石第五九三部隊豫防液ニ送付ス
石第五九三部隊	一〇	三〇	一〇	一	自隊豫防注射終了後殘液ヲ石第五九三部隊豫防液ニ送付ス
石第四八三三部隊	一九	五七	一〇	一	自隊豫防注射終了後殘液ヲ石第四八三三部隊豫防液ニ送付ス
石第五九三部隊	四一	一一三	一〇	二	自隊豫防注射終了後殘液及石第四八三三部隊豫防液ニ送付ス
石第四八四部隊	一七	五一	一〇	二	自隊豫防注射終了後殘液及石第四八四部隊豫防液ニ送付ス
石第四八一部隊	一九	五七	一〇	一	自隊豫防注射終了後殘液ヲ石第四八一部隊豫防液ニ送付ス
石第五九六部隊	二〇	六〇	一〇	一	自隊豫防注射終了後殘液ヲ石第五九六部隊豫防液ニ送付ス
石第四八二部隊	一九	五七	一〇	一	自隊豫防注射終了後殘液ヲ石第四八二部隊豫防液ニ送付ス
球第二〇二部隊	一五	四五	一〇	一	師團病馬激豫防注射ヲ依頼ス
球第四一五二部隊	三九	一七	一〇	一	射ヲ依頼ス